



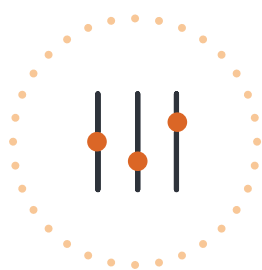
Chromebook を安全に使うために

コンテンツフィルタリングと
セキュリティが重要な理由



テクノロジーは教室での学びに変革をもたらしました。「1人1台端末」環境の実現により、小中高等学校における学習プロセスは、教室以外の場所や学校で過ごす以外の時間にも拡大しています。しかしこれにより、学校は単にテクノロジーを提供するだけでなく、最大の学習効果と安全に学べる環境を提供する責任も負うようになりました。

学習用のデバイスとしてChromebookを選択した学校では、GoogleとJamfのツールを組み合わせることで、以下のメリットを得ることができます。



Chrome Education Upgradeで
Chromebookを**管理**



Jamf Safe Internetで**安全な**
ネット環境を生徒に提供



すべての生徒にの**公平な**
コラボレーションの**機会を提供**



このガイドでは、Chromebookを使って安全に学習できるよう生徒を支援する方法や、このトピックについてさらに詳しく学べるリソースについてご紹介します。

Google Workspace for Education

- Google Workspace for Educationとは
- Google 管理コンソール
- Google Classroom
- その他の教育向けGoogleアプリ

Chromebook向けコンテンツフィルタリング

- なぜコンテンツフィルタリングが重要なのか
- Jamf Safe Internetでできること
- ChromebookでJamf Safe Internetを使用する

Google Workspace for Education

高度なセキュリティツールと指導や学習をランクアップさせる機能を備えた [Google Workspace for Education](#)は、より優れたデジタル教育環境や教育効果の実現を支援します。

ビデオ通信機能の強化により、オンラインでの学習やコラボレーションの機会が広がるだけでなく、盗用の可能性を検出する内蔵ツールで教師の負担を軽減することができます。また、生徒にフィードバックを提供することで、提出物の質の向上やクリティカルシンキングを促すことができます。



Google ドキュメント、スプレッドシート、スライド、サイトを活用してリアルタイムで共同作業



Classroomやアサインメントを活用してクラス管理にかかる手間を節約



Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドからビデオ通話にアクセスしてコラボレーションを強化



内蔵された多層な自動化機能でセキュリティ管理を簡素化

コネクティビティ

学習意欲やエンゲージメントを促進する強力なツールを教育者に提供します。ビデオ会議をGoogleドライブで直接録画、保存またはアーカイブし、後で視聴または共有して理解度を深めることができます。

より豊かな経験

よりパーソナライズされた学習環境を提供します。また、生徒の理解度をより素早く把握できるツールにより、指導効果をさらに高めることができます。

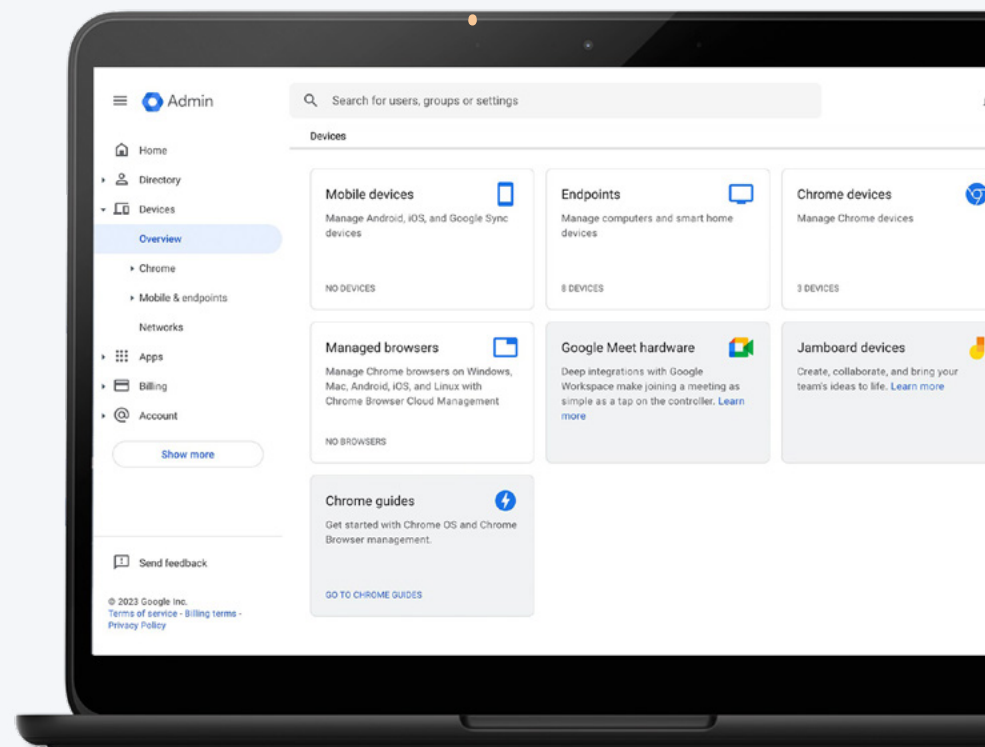


Google 管理コンソール

Chromebookをしっかりと保護するためには、適切な管理から始める必要があります。まずは、Chrome Education Upgradeと**Google 管理コンソール**を用意しましょう。これらをJamf Safe Internetと組み合わせることで、教育用オンラインリソースへのアクセスを**管理し安全に運用**するための包括的なソリューションが利用できるようになります。Google 管理コンソールでは、以下を管理することが可能です。

- [Google Workspace for Education](#)
- ChromeOS
- Chromeの設定

Chrome Education UpgradeでChromeOSの機能をフルに活用することで、教師の仕事量が増えている現状に対応し、ITのリソースを効率的に使用し、教育者が学習成果の向上にフォーカスできる環境を作ることができます。また、Google 管理コンソールは教師や生徒向けの学習および生産性向上ツールを一元管理するのに便利です。これによりIT管理者は、適切なツールが適切なデバイスに搭載され、適切なタイミングで使用できる状態であることを確認し、セキュリティの面で妥協せずに学習プロセスを最適化することができます。



多くの教育機関が、Google Workspace for Educationを最初に選択した理由として、オンプレミスのサーバの必要性をなくす強力なメール機能を挙げています。また、Google Workspace for Educationによってコラボレーションが容易になり、イノベーションの拡大や生産性向上ツールの利用率アップが確認されたという声もあります。

Google 管理コンソール

Chrome Education Upgradeでは、Google 管理コンソールを通じて導入規模に応じたデバイス管理を行い、ユーザーに適切な権限と必要なツールが提供されるよう個々のデバイスを構成することができます。IT管理者はリモートでデバイスやユーザーの設定を構成し、学習を助長するテクノロジー環境を構築できます。

Google 管理コンソールでできること

- ChromeOSとChromeの以下の設定を管理
 - OSアップデート
 - サインイン設定
 - 拡張機能
- 他のITシステム(例: Splunk)との統合
- デバイスの有効化および無効化
- Chromebookの問題をリモートで解決
- 画面共有でユーザーと一緒に問題を解決
- 生徒が以下を含む適切な相手と共同作業できるようにユーザーグループを管理
 - 同級生
 - 他の学年の生徒
 - 学外のユーザー



Google Classroom

指導と学習はすべてここから



Google Classroomは、教育者、生徒、クラスと一緒にレッスンや課題に取り組むことができる環境を提供する包括的なツールです。 Classroomは数分で使い方を学ぶことができ、教育者はレッスンの管理や採点を効率的に行うことができます。Google ドライブ、カレンダー、Meetなどの他のGoogle Workspace for Educationツールや、人気の高いサードパーティの教育ツールとのシームレスな統合機能を備えたClassroomは、パーソナライズされたレッスンを効率的に作成する方法を教育者に提供することで、より充実した学習体験を実現します。



教育者にとってのメリット

- 異なるクラスのレッスンを一元管理
- 簡単に課題を作成し生徒に配布
- 生徒の進歩を可視化
- 生徒のニーズに迅速に対応して信頼と信用を構築
- 教室内外のリソースへのアクセスを生徒に提供

→ [Googleクラスルームの機能に関する詳細はこちら](#)

→ [Google Workspace for Educationの各エディションの詳細はこちら](#)



生徒にとってのメリット

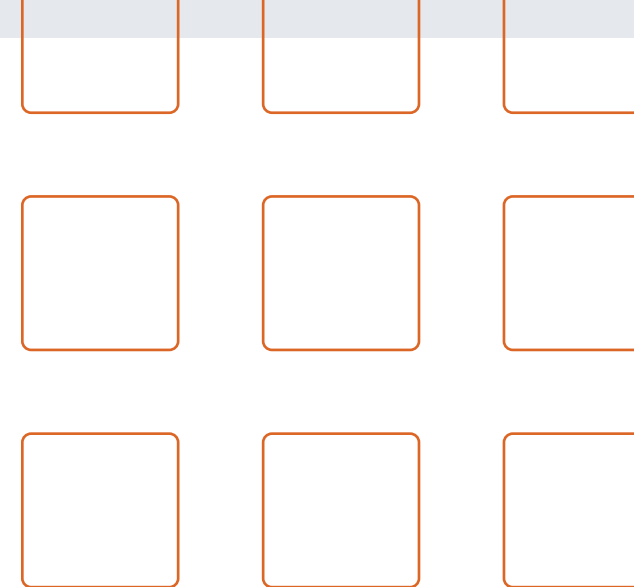
- 課題に取り組んでいる途中で直接ヘルプや指導をリクエスト
- Classroom内で課題を提出
- 演習セット (Google Workspace for Education Teaching & Learning Upgrade または Education Plus で利用可能、英語のみ) で、正解した時にリアルタイムで褒めてもらったり、必要な時にその場でサポートをリクエスト
- 手書き、描画、記号入力に対応するために、複数のデバイスを使用



Google Workspace for Education

Workspace アプリ

Google アプリと聞いて多くの人が最初に思い浮かべるのはClassroomですが、Google Workspaceは他にも教室内外で役立つアプリを多数提供しています。学習成果の向上に貢献する他のアプリには、以下のようなものがあります。



Gmail - どのデバイスからでも、メールや通知、課題にアクセスすることができます。

Google ドキュメント、スプレッドシート、スライド - ドキュメント、スプレッドシート、プレゼンテーションを画期的なオフィスソフトで管理し、直接クラウドに保存できます。



Google ドライブ - ファイルを保管、検索、アクセスするための共有スペースを作成することができます。



Google Meet - リモート学習や遠隔学習を行う生徒や教師がつながり、ディスカッションや共同作業を行うことができます。



他のプラットフォームが個人の生産性を重視するのに対し、Google製品はコミュニケーションとコラボレーションにフォーカスを置いて設計されています。これらのツールはすべて、必要な情報をユーザに提供し、ユーザ同士と一緒に作業できるよう最適化されています。



コンテンツ フィルタリング on Chromebook



コンテンツフィルタリング

なぜフィルタリングが必要なのか

GoogleテクノロジーとChromebookを使用する学校は、生徒に無限の教育機会を提供することができるだけでなく、内蔵されたウイルス保護機能でマルウェアから生徒を守ることができます。しかし、多くの場合、学校における包括的なセキュリティ戦略には重層的なアプローチが必要です。

効果的なコンテンツフィルタリングソリューションは、以下のメリットを提供してくれます。



豊富なコンテンツを安全に
利用できる環境を生徒に提供



保護者と教育者に安心を提供



自立学習を促進

コンテンツフィルタリング

小中高等学校における学習をテクノロジーで強化するために コンテンツフィルタリングが不可欠な理由

生徒の安全を守る - 生徒のオンラインセーフティに関する法律は国ごとに異なりますが、多くの場合、以下のような制限が課される場合がほとんどです。

- ポルノやわいせつなコンテンツへのアクセス
- ヘイトスピーチ、暴力または過激化を促進するサイトへのアクセス
- 自傷行為、自死、または拒食を助長するサイトへのアクセス
- フィッシングや詐欺目的のサイトへのアクセス
- ネットいじめ
- ソーシャルメディアやゲームなど、学習の妨げとなるコンテンツへのアクセス
- ギャンブルサイトへのアクセス

生徒の集中力と生産性 - 学校でのSNSへのアクセスに制限をかけることは、ネットいじめを防ぐだけでなく、生徒が学習に集中できる環境を作ることにもつながります。これにより、生徒の学習効率や生産性のアップに加え、授業への積極的な参加を促すことができます。

システムのセキュリティ - マルウェアやアドウェア、スパイウェアをブロックすることで、生徒の安全を守ります。これにより、学校のネットワークも安全に保つことができます。

コンテンツフィルタリングが法律で定められているケース

- Children's Internet Protection Act (アメリカ)
- Keeping Children Safe in Education (イングランドおよびウェールズ、2015年)
- 世界のすべての大陸(南極大陸を除く)で、同様の措置が全体的または部分的に実施されています

コンテンツフィルタリング

Jamf Safe Internet

Jamfのコンテンツフィルタリングとネットワーク脅威保護エンジンを搭載したJamf Safe Internetは、未成年者を有害コンテンツから保護したいと願う教育機関のために設計されています。Jamf Safe Internetのコンテンツフィルタリング機能とモバイル脅威防御ツールを活用することで、エンドユーザとネットワークの両方を、不適切または有害なコンテンツだけでなく、フィッシングやマルウェア攻撃からも守ることができます。

Jamf Safe Internetでできること

- 生徒がインターネットを自信を持って安全に利用できる環境の提供
- 「プライベートに配慮した保護」のアプローチで未成年を有害なコンテンツから保護
- 軽量で高性能なDNSテクノロジーを備えた包括的なデータベース機能
- 不適切なコンテンツだけでなく、マルウェアやフィッシングなどの悪意のある攻撃もブロック
- 学校のニーズに合わせてコンテンツフィルタを作成およびカスタマイズ
- Google 管理コンソールから簡単に導入でき、生徒は [Google Workspace for Education](#) アカウントで簡単に Chromebook にログイン



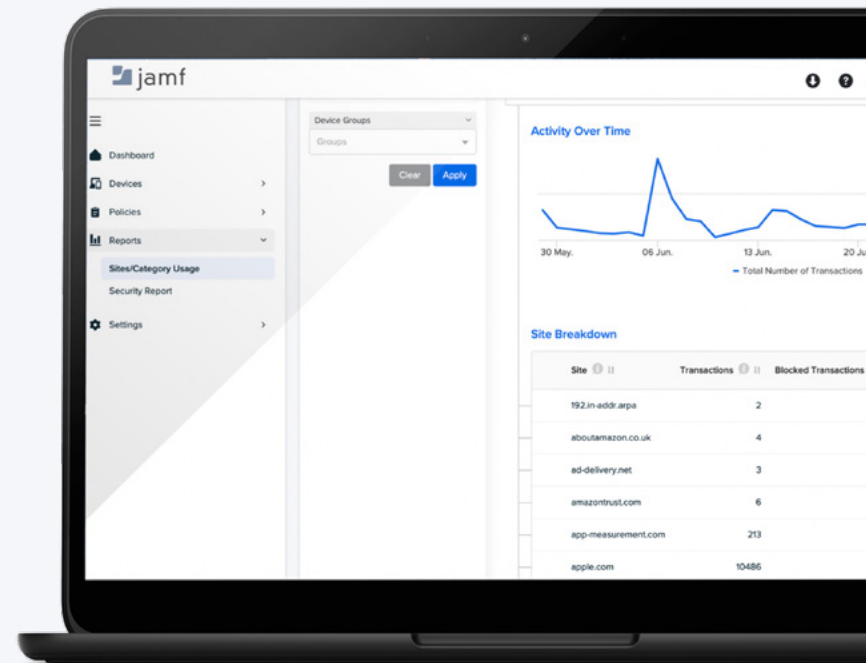
Jamf Safe Internetが生徒のオンライン行動を監視しない理由を知りたいですか？Jamfが子供たちを監視下に置かずに保護する戦略を選んだ理由については[こちら](#)をご覧ください。

コンテンツフィルタリング

Jamf Safe Internet

Jamf Safe Internetは、有害なコンテンツをブロックするだけでなく、教育者に充実したツールを提供します。Jamfのソリューションは、管理者を支援し、既存のネットワークインフラと融合するための機能を多数備えています。

- **簡単に作成できるレポート**: 効果的に脅威対策を行うには、ポリシーの効果を把握するためのレポートが必要です。Jamf Safe Internetなら最新のネットワークデータをタイムリーに手に入れることができます。
- **YouTubeの制限付きモード**: YouTubeの制限付きモードを有効にすると、YouTubeの検索結果やコメント、埋め込み動画からアダルトコンテンツを除外することができます。
- **Googleセーフサーチ**: Googleセーフサーチを強制適用し、Googleの検索結果から不適切なコンテンツを除外して、安全な学習環境を生徒に提供することができます。
- **Google for Education + Jamf**: Jamf Safe InternetはGoogle 管理コンソールから簡単に導入することができ、生徒がGoogle Workspace for EducationのアカウントでChromebookにログインした時点で、所属グループまたは年齢に応じた閲覧ポリシーが素早く適用されます。



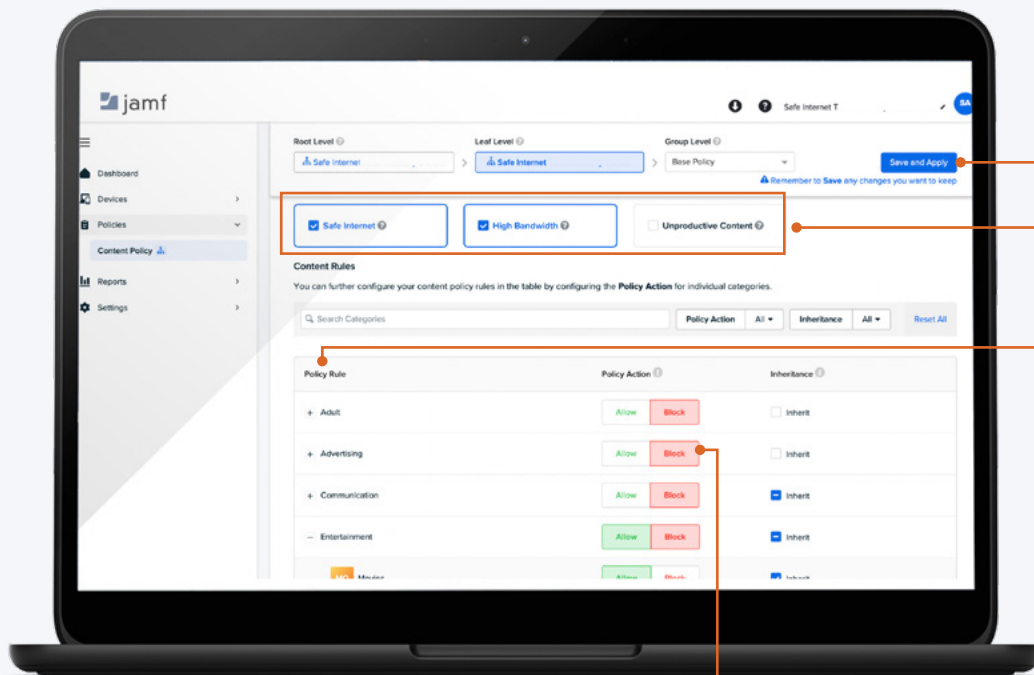
Jamf Safe Internetのプライバシーポリシーの詳細について知りたい方は

Jamfトラストセンターで、Jamfの製品やサービスの情報セキュリティ、コンプライアンス、プライバシーに関する情報や包括的な回答をご覧ください。

コンテンツフィルタリング

ChromebookでJamf Safe Internetを活用

生徒がどこにいてもプライバシーの保護と学習リソースへの安全なアクセスを提供



ボタンを押すだけで簡単に
ポリシーを更新



定義済みのコンテンツフィルタリングの
ポリシーを使って手軽にルール設定



幅広いブロックカテゴリーの
中から選んでアクセスを制御



1クリックで簡単に許可/ブロック
を切り替え

「Google for Education + Jamf」で実現する 安全かつ効果的な学習体験

教育者たちが自信を持って子供たちの可能性を広げることのできる環境を作るのなら、Googleの製品とJamfのセキュリティおよびエンドポイント保護ツールを組み合わせるのがベストです。GoogleとJamfは、生徒を有害なコンテンツから守りながら、彼らの成長や好奇心、学習の成果を促進するテクノロジーを提供しています。

学校がパーソナライズされた学習アプローチを推進することで、生徒は自分に合った方法で情報を処理できるようになります。画一的なアプローチの指導に頼るのではなく、独自の学習スタイルでリソースを利用し、遭遇した問題を解決する力をつけることができます。

ChromebookでJamf Safe Internetを体験してみませんか？
ぜひ今すぐ無料でお試しください。

[トライアルに申し込む](#)

またはお近くの販売代理店までお問い合わせください。

Google、Gmail、Chrome、Chromebook およびその他の
マークはGoogle LLCの登録商標です。